

令和4年度 矢吹町学校規模適正化検討委員会（第1回幼稚園専門部会） 議事要旨

会議名：令和4年度 矢吹町学校規模適正化検討委員会 第1回幼稚園専門部会

日時：令和4年12月1日（木）18:15～20:30

場所：矢吹町役場 2階 大会議室

参加者：委員14名（会長、副会長含む）

【以下、議事要旨】

（1）第1回検討委員会での要望等について

会長	事務局、説明をお願いします。
事務局	第1回検討委員会での要望資料等、p5資料3（参考資料1、参考資料2、参考資料3）に基づき説明
会長	何か質問等がありますか。
委員	なし

（2）アンケート調査結果の報告について

事務局	資料4に基づき説明（以後省略） 協議の方法についてグループワークを取り入れた形で実施を提案
会長	本件についてご意見はありますか。
委員	P7、設問6では、幼稚園の統合に対するお考えを問う設問であるが、統合について望ましい・望ましくないという選択肢のほかに子ども園化に関する選択肢がある。これは統合について望ましい・望ましくないどちらの意見と捉えればよいか。
事務局	どちらの方向性でもない選択肢である。
委員	子ども園化に関する選択肢はこの設問では除いておく方がよいと思われるので、今後は留意いただきたい。
委員	P6、望ましい1学級あたり人数が少なくなると「教員の数が増えることで多様な教育を受ける必要がある」の理由の割合が増えるのはなぜか。
事務局	園児一人あたりの教員数が多くなるかと推察されます。要因としては設問4と設問5のクロス集計によりこのような傾向が表れています。
委員	認定こども園に子どもを通わせている保護者は調査対象外とすべきだったのではないかと。アンケート項目の大部分が町立幼稚園のことであるため、アンケート対象は町立幼稚園の保護者にするのが良いと考える。
事務局	本調査で町の子育て支援施策について問う設問を含めていることから

	調査対象としていたが、ご指摘のとおりである
会長	P10、設問 8、9 に示すこれらの子育て支援施策はそもそも住民に知られていない可能性があるのではないか。この点も踏まえてグループワークを実施したいが御異議ありませんか。
委員	異議なし
会長	それではこれまでの内容を踏まえ、グループワークを実施します。
会長	時間となりましたので、各グループから発表をお願いします。
委員	・アンケート結果では 1 学級あたりの園児数として「11～20 人」が多かったが、その場合配置する職員の数は何名になるか。 ・アンケート結果で把握した統合に否定的な意見に対する対応が必要になると思われる。 ・今後、小学校の統合に関する検討可否や三神地区など通園に課題のある地域への送迎バスの検討などが必要になると考えられる。 ・建設に向けた具体的なスケジュール感・イメージを知りたい。
委員	・アンケート結果としては統合に関してはやむを得ないとする意見が多かったものと思われる。 ・今後、統合の方向に進むのであれば、どの幼稚園とどの幼稚園を統合するのかといった具体的な内容が保護者は知りたいのではないか。 ・地域と支えあいながら幼稚園を運営してきた立場からすれば複雑な心情である。
委員	・アンケート調査では人口が減少することが前提となっており、増えてくる見込みを踏まえた内容とはなっていない。 ・まずは町として人口増加に向けた取り組みが必要ではないか。
委員	・令和 10 年までに子どもの人数が 2/3 になるため幼稚園だけでなく小学校にも波及するため、そのあたりの認識を持って検討を行う必要がある ・各園と保護者の関係性のもとで町立幼稚園運営がなされており、地域性が生まれ魅力となっている、一方アンケート結果では小規模園になると保護者負担の増加が懸念されるという意見もあり、これも検討事項になると考えらる。 ・今後、ニーズ調査は必要であるが、休日保育や夜間保育など保育の拡充や、障がい児に対する支援が重要となると考えられる。また、あわせて認定子ども園化の検討も行うことが効果的ではないか。
会長	それでは、各グループから挙げられた意見を今後検討すべき事項として協議案件に取り込んでいきたいと思いますが、その他ご意見等ありますでしょうか。

委員 なし

(3) 答申への協議事項について

会長	事務局、説明をお願いします。
事務局	資料 5 に基づき説明（以後省略）。
会長	骨子案の事項として考えられるものがあれば挙げていただきたい。
委員	人口減少が将来このまま進むことが全ての議論の前提となっているが、まず人口減少を止めなければならないのではないかと。地方であっても人口増加している自治体はあると聞く。骨子案の 4 つ目にも「その他」などで「望ましい」「期待する」といった書きぶりでもいいので人口増加に向けた取り組みを記載いただきたい
事務局	まち・ひと・しごと総合戦略等により町として人口増の取り組みを行ってきてもなお人口減少に歯止めがかからない状況もある。
委員	学校規模適正化についての会議ということは理解しているものの、やはり幼稚園の園児数が少なくなっている原因を把握したうえでそれを解消することは必要なのではないかと。また、ただ人口増加の取り組みを行うだけでなく、ターゲットを絞ることも重要である。具体的には、子育て世代を増やすことや出生率の向上が考えられる。
委員	現在一部地域で一時的に人口増加している状況があったとしても、やはり将来的には人口減少の流れは避けられない。また、子育て世帯を増やすためには、矢吹町を選ぶ理由が必要である。であれば、統合を機に新しい良い園舎を建てて町の魅力とするように統合を進めるのもよいのではないかと考える。町には豊かな自然環境もある。その意味でも、答申案（1）に幼児教育にふさわしい「環境」という文言を追加してはどうか。
事務局	町としても、子育て世代に選ばれる町にしようという方針は掲げている。
会長	総括すると、次回専門部会に向けて、答申案に 4 つ目の答申事項として「出生率向上のための町の望ましい取り組み」（適切な文言は今後検討）を追加するとともに、町の人口動態に関する資料を作成することとする。

(4) 今後のスケジュールについて

会長	事務局、説明をお願いします。
事務局	資料 6 に基づき説明（以後省略。）
会長	質問等ありますか。

委員	第 2 回専門部会が 1 月 13 日と提案があったが、1 月下旬の第 3 回専門部会と近いがその辺は大丈夫なのか。
事務局	スケジュールは当初の予定であり、目安である。 必要に応じてスケジュールの調整を行うとともに、必要であれば部会についても回数を増やすという対応を考えています。
会長	その他ありますか。
委員	なし。
会長	それでは以上で本日の協議は終了します。

以上